

令和4年7月20日

3学年 進路通信 No. 9

「卒業生のお話を聞く会」から

14日（木）、15日（金）の2日間にわたり、「卒業生のお話を聞く会」を実施しました。各高校の特徴や様子、自身が高校を選択するまでの流れ、勉強への取り組み方など経験をもとに話をしてもらいました。話の内容を抜粋して掲載しますのでぜひ参考にしてください。

【高等学校について】

- ・部活に力を入れている。また中学校にはなかった様々な部活動があり、楽しく活動できる部がたくさんある。
- ・学食があり種類も豊富で値段も安い。
- ・スタディーサプリが導入されていて、授業で分からなかったところをスマホを見ながら復習できる。
- ・校舎とは別に「学習館」という勉強（自習）ができる建物があり、テスト前にはそこに行って勉強している。
- ・校則は厳しいが生徒会が積極的に活動し、生徒の希望にそのような形になってきている。

【進路決定までについて】

- ・小学校からやっていたバスケをしたいと思い、バスケ重視で高校を選んだ。
- ・小さいころからダンスをやっていたのでダンス部が強く、大学受験にも力を入れているのでこの学校を選んだ。
- ・高校選びに迷ったら、高校に行って何をしたいかをよく考えて選んだほうがよい。
- ・直接高校に行って、その場の雰囲気を感じる事が大切。自分の場合はパンフレットだけみて高校を選んでいたら、実際に行ってみると、駅から遠くて暗い道が多く、部活に活気がなかったりして自分のイメージと全く違ってがっかりした。
- ・高校では社会に出て必要となる情報処理技術を学び、大学では自分の好きなことを学んで、社会人になったときに仕事に困らないようにしたい。

【受験勉強について】

- ・夏休みは苦手教科を徹底してやったほうが良い。
- ・一人で勉強するのも大切だけれど、飽きたら友達とするのも教えあいなどができて良いので時間を決めて行うのもいい。
- ・夏休みは1日中塾にいて、授業のないときは自習をしていた。
- ・夏休みは朝9時から夜9時まで塾にいて、授業のないときはずっと問題集を解いていた。
- ・自分が集中して取り組める場所を知ることが大切。自分は昼は図書館、夜は家で勉強した。
- ・夏休みは1、2年の復讐を徹底しておこなった。また過去問はタイマーではかり本番同様に行なった。
- ・V 模擬などの模試を受けると良い。今までの勉強の成果が目に見えてわかることと、受験の雰囲気を知る上でも参考になる。
- ・できれば夏期講習を入れるとよい。自分の勉強の土台づくりや、勉強を習慣化することができる。
- ・受験勉強していて飽きたら、ランニングをしたり、夜ならおやつを食べたりしていた。

【その他】

- 勉強とかきついなと思ったら、友達や先生に相談したりしてほしい。つらいのは自分だけではない。
- 夏休みにはできるだけたくさんの学校説明会に行ったほうが良い。そして他の学校との違いを見つけて、自分にあった高校を探したほうが良い。また2学期は放課後に高校を見に行くと、部活動の様子や下校中の高校生の様子をみることができるのでお勧め。
- 受験勉強だけでなく、学校行事や委員会などにも一生懸命取り組んでおいたほうが将来に役立つし、今しかできない貴重な思い出になる。
- 高校で運動を続ける人は、部活動を引退しても定期的に運動をしておいたほうが良い。

当初、話をしてもらう予定になっていた佐々木譲太くんが学校行事と重なりできなくなりましたが、少しでも自分の経験を伝えられたらということで手紙をもらいましたので紹介します。これからの参考にしてもらえたらと思います。